

産業建設分科会



12月11日

議案第81号 令和6年度鈴鹿市一般会計補正予算(第4号)

庄野29号橋の歩道の拡幅工事

○歩道整備事業 2,600万円(繰越明許費)

【概要】 三重県が施工する芥川河川改修事業に伴う市道加佐登一丁目188号線の機能回復に併せて、庄野29号橋の歩道拡幅を行うもので、工事を一体として施工する必要があるため、三重県と工事委託契約を締結している。今回、年度内完了が見込めなくなり、次年度への繰越を行うもの。

質疑 市道加佐登一丁目188号線の道路を付け替える目的は何なのか。

答弁 現在、市道が線路と芥川を少し斜めに横断する形となっている。道路を付け替えることにより、直角で交差する道路とするため。その工事に併せて、歩道や車道の拡幅工事を一体で行っており、三重県が実施している。

討論(要旨)

討論は議案に対する賛否の態度、考え方を明らかにするものです。

<議案第81号～議案第94号について>

諸派
(日本共産党)

石田 秀三 議員

議案第81号に反対、その他議案は賛成

新規計上された東京事務所の開設準備費について、令和3年および令和4年の議会答弁では「設置する予定はない。」としていたが、今回設置が必要となった理由の説明が十分になく、賛成できない。



新緑風会

曾我 正彦 議員

全議案に賛成

将来的な経営資源および情報の獲得に向けた東京事務所開設は特に推進すべき。また、小中学校屋内運動場の送風型空調機の導入にみられるような新たな事業への取り組みは今後も積極的に挑戦すべきである。



市民の声

藪田 啓介 議員

議案第81号・議案第85号に反対
その他議案は賛成

議案第81号では東京事務所設置において、具体的な成果指標などが示されていないので効果の判断ができない。議案第85号では使用面積により空調使用料の減額を行う形であるが、体育館構造的に矛盾が生じる。



自由民主党
鈴鹿市議団

宮木 健 議員

議案第81号に賛成

東京事務所開設準備費について、デジタル化の進歩により情報は多義にわたって入手可能となったが、真偽の見極めには対面による「生きた情報」は大変重要である。今こそ人脈構築に積極的に活用すべき。

